

2017年9月

つづきMYプラザ
TSUZUKI MULTICULTURAL & YOUTH PLAZA

プラザニュース



つづきMYプラザ (都筑多文化・青少年交流プラザ)
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-25-1 ノースポート・モール5階
TEL: 045-914-7171 FAX: 045-914-7172
E-mail: my-plaza@tsuzuki-koryu.org URL: http://tsuzuki-myplaza.net/

第114号

2019年 2020年 ボランティアとして関わりたい

抽選で選ばれた熱い思いを持った方々が3日間の連続講座『グローバル人材と人間力』に参加しました。今回は通訳ボランティアに焦点をあてて5つのテーマで学びました。講座を終えて「2020年に向けて一緒に何ができるかを考えませんか？」という呼びかけに半分以上の方から「ぜひ一緒にやりましょう」と手があがりました。

1. 情熱が人を動かす

宮田 豊 館長 (横浜国際プール)

スポーツボランティアが国際大会を支えるためには、

1. 情熱をもって真剣に取り組む。
2. プロとして仕事にたちむかう。
3. おもてなしの心を大切にする。

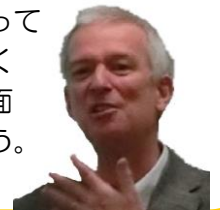
実際に大会時のボランティア業務や緊急時の対応などを意識しながら、国際プールの裏側を見学しました。



2. 生きている日本の文化を知りたい

ロバート・エスキルドセン 上級准教授
(国際基督教大学 教養学部 歴史学)

日本人は伝統的な「日本文化」を伝えたいと思っているが、多くの外国人は今の「日本文化」を知りたいと思っている。相手が興味を持っているところを入口に話を進めていくことが大切。また、通訳はその場面に応じて求められているものが違う。



3. 違うバックグラウンドを持った人とチームで働く

東京外国語大学 リオ2016 大会参加学生

多国籍のチームで働く現場では、文化や価値観の違いを認め合い、協調する姿勢を持つ必要がある。

また、語学力以外に周りを見て瞬時に判断する力や、コミュニケーション能力が不可欠。



4. 通訳者はニュートラルな立場

南谷 かおり 国際診療科部長
(りんくう総合医療センター)

通訳者は基本的に「たさない！ひかない！かえない！」分らないことは必ず確認する、自分の手に負えないと思ったら、通訳を断念することも必要。最後には、スポーツの国際大会には欠かせない、ドーピングコントロールについて説明をしていただきました。



5. アスリートは常に孤独さをもっている

マルセロ・メンデス 監督
(ビーチサッカー日本代表)

知らない国に来て戦う選手は心のどこかに孤独さをもっている。ボランティアの笑顔が選手を勇気付けたり、励ましたりすることがある。もし選手が何か話をはじめたらぜひ聞いてあげて欲しい。また、人と関わる時にはその人が持っているバックグラウンドを受け入れることが大切。



2019年に横浜国際総合競技場でラグビーワールドカップ決勝戦が開催され、2020年には横浜国際プールがオリンピック英国代表チームの事前キャンプ地となります。

つながる・ひろがる・そだてる

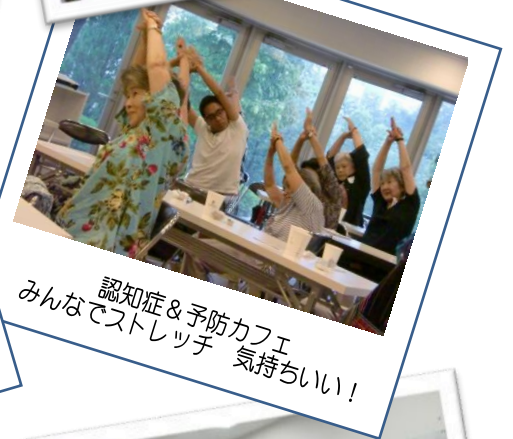
平成 20 年に、『青少年が地域とつながり、社会参加をとおして成功体験を積み重ね、自己肯定感を持つきっかけとなるように、また地域の大人にとっても青少年と関わる場であり、気づきの場となるように』とスタートした「はあと de ボランティア」は、今年で 10 回目を迎えました。地域や中高生（昨年からは小学校 5・6 年生向けプレコースも始まりました。）との多くのつながりを大切に、成功や失敗を次への糧として少しずつ広がり、根を張り、育ちはじめています。



一人一人の小さな努力で多くの笑顔が生まれる



高齢者施設
洗濯物たたみのおてつだい



認知症&予防カフェ
みんなでストレッチ 気持ちいい!



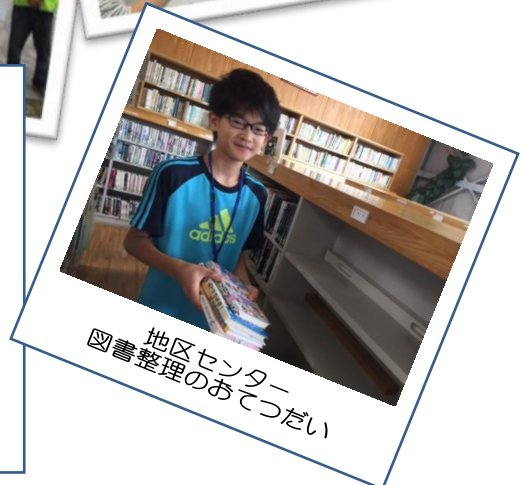
1日警察官
犯罪防止を呼びかけます



放課後キッズクラブ
子どもたちはお兄さんが大好き



公園愛護会
公園の木のお手入れ



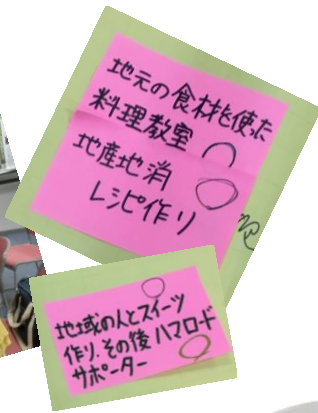
地区センター
図書整理のおてつだい



STEP UPプログラム「地産地消の料理教室」2年越しの想いを形に・・・

「はあと de ボランティア」に参加経験のある中高生たちは、その経験を活かし、「はあと de ボランティアのプログラムを企画する」という活動に年間をとおして取り組んでいます。昨年度は、準備のための時間切れで断念した「地産地消のプログラム」を、都田地区青少年指導員の方々や都筑区ヘルスマイトの皆さんにご協力いただき、今年度は「地産地消の親子料理教室」として実現させました。

第1回 ミーティング



村田さんの畑で地域の方と畑作りと苗植え・収穫



都筑区ヘルスマイトの皆さんとレシピや調理手順の最終調整



ビシソワーズ



当日は6組の親子が参加しました



STEP UPプログラムに参加して・・・

1年間、STEP UP の活動を支えていただきありがとうございました。1年の活動が終わり、今は『本当に参加して良かった！』という気持ちでいっぱいです。県外から引っ越してきて、更に居住区外の小学校・中学校に通っている私にとって、地域の繋がりを感ぜられたことはとても新鮮でした。また、学校や学年を越えた繋がりを得られたのもSTEP UPに参加して初めての経験でした。本当にSTEP UPには感謝です。来年度のSTEP UPも参加します。今年の反省も活かして、良いプログラムを企画したいです。(中学3年生 女子)



最後に「ありがとね」と言われて、ちょっと「やってよかったな」と思った

8月26日都筑区役所6階大会議室で振り返りと修了証授与を行いました。小学生、中高生、大人、総勢157名がグループにわかれて、夏休みのボランティア体験を報告し合い、みんなの想いを込めたこの夏の一句を詠みました。最後には全員に「修了証」を手渡しました。



働いためぐる出会いに皆笑顔
ボランティア感謝の気持ちを伝えよう
ゴミひろいはじめて経験きれいな広場

「外国につながる子どもの発達障害をどう捉えるか ～大人の役割と子どもの未来～」を開催しました

8月24日 多文化共生セミナーを開催しました。今回のキーワードである「外国につながる子ども」「発達障害」は、教育現場で日々向き合っている関係者の関心も非常に高く、大勢の方が熱心に受講されました。

講師の清長先生は、子どもとの関わり方について「発達障害があるかどうかは医療機関が決めること。私たちの役割は子どもに寄り添い、trial & errorをくり返しなが、その子に一番いい学習方法を探していくことなんです。」と話されました。また、「保護者の側にこそ支援や治療が必要な事もある」「子どもを変えるのではなく、大人が変わるという視点が必要」「できない事には、その子なりの理由があるのかもしれない」「少人数≠特別支援教室」というお話とともに、子どもたちの心の声がスライドで紹介されました。

後半の質疑応答でも、大変多くの質問が寄せられ、どれも明確に答えの出せない難しい課題を抱えていましたが、「大切なのは待つこと、肯定すること」という姿勢は、参加者の心に強く響いたようでした。



NPO 法人アジャスト
代表理事 清長 豊 先生



「もっと頑張っ
て」って言われる
と悲しくなる。頑
張れるだけ頑張
っているから。

私の脳は、先生の
脳とは違うかも
しれません。



からだを動かしてい
ないと集中出来な
いんだ。立ち上った
り、動いたりさせて
ください。

目を合わせなく
ても、話はちゃんと
聞いている。話をす
る時、好きな方向を
見させてください。

スライドより

日本語ボランティア入門講座

地域の日本語ボランティア・ゼロからのスタート
外国人に日本語を教えるための基礎知識

日時： 10月18日・19日・20日（全3回）
10:30~12:30

実際の授業の様子も見学します。

会場： つづきMYプラザ

定員： 先着20名

参加費： 1,000円（初回にお持ちください）

申込み開始 9月11日10:00より

*詳しくはHP、広報、チラシをご覧ください。

参加者の感想（アンケートより抜粋）

- ❖「考え方」「具体的な対応」の両面を伝えて頂いたのは、良かったです。
- ❖言語の問題か発達の問題かを分けず、その子に最適な学びを提供できるよう、子どもにもっと寄り添って、支援していこうと思いました。
- ❖学校、地域をはじめとする連携の必要性を感じました。
- ❖アプリを使った学習は、とても参考になりました。

つづきMYプラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ）
開館時間 平日：午前10時～午後9時
土日祝：午前10時～午後6時
休館日 第3月曜日（祝日の場合火曜日）、年末年始
アクセス 市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン
「センター北」駅下車 徒歩3分
ノースポート・モール5階

編集後記

2019年、2020年の国際大会に向けた講座では、たくさんの方にご参加いただきました。また、恒例のボランティア体験も、大勢の子ども達が頑張りました。国際化と地域の輪、どちらも私たちの大切な役割だと実感した夏でした。（Y.S）（K.O）



認定特定非営利活動法人 つづき区民交流協会
http://www.tsuzuki-koryu.org